

事前評価書

- 1 事業名 畑地帯総合土地改良事業
地区名 谷熊地区
- 2 事業概要
(1)位置 田原市
(2)規模・内容 排水路工15.0km 道路舗装工L=2.2km
(3)予定期間 平成20年度 ~ 平成25年度
(4)総事業費(千円) 945,000 千円

3 必要性

当地域は、専業農家も多く、営農意欲も高い県内でも有数の畑作地域であるが、施設の断面不足や老朽化等により、農業経営に多大な障害が生じている。特に排水路の老朽化は著しいものがある。このため、早期に畑地帯総合土地改良事業谷熊地区で整備をおこなうことにより、これら施設の整備を行い、担い手農家のより一層の規模拡大と農業経営の安定化を図る必要がある。

4 事業効果

(1)費用対効果(B/C)の総括

区 分	数 値	算 式	説 明
基準年度	H19	—	
総事業費	945,000千円	①	基準年における総費用(C)
事業費	945,000千円	—	
関連事業費	—	—	
年総効果額	72,593千円/年	②	内訳は(2)表
廃用損失額	—	③	
総合耐用年数	29年	④	評価期間(年数)
還元率× (1+建設利息率)	0.0608	⑤	
妥当投資額	1,193,964千円	⑥=②÷⑤-③	基準年における総便益(B)
投資効率	1.26	⑦=⑥÷①	費用対効果(B/C)

(2)年総効果額の総括

(単位:千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 額	説 明
農業生産向上効果		20,589	
作物生産効果		19,927	
品質向上効果		662	
農業経営向上効果		5,734	
営農経費節減効果		—	
維持管理費節減効果		3,039	
営農に係る走行経費節減効果		2,695	
生産基盤保全効果		46,270	
更新効果		46,270	
計		72,593	
廃用損失額		—	

5 事業をめぐる社会情勢

本地区の排水施設は、施工後30年以上経過し、営農形態の変化による断面不足及び老朽化による傷みが激しく泥上げなどの維持管理に苦慮している。また、農道においては、舗装部分が剥離し、農作物の荷痛みも見られ、営農上支障を来している。このため、本事業によりこれらを解消し、生産性の向上、農業経済の安定を図るものである。

6 その他特記事項

特になし